

山梨県地域公共交通計画 関係者意向調査実施計画

山梨県地域公共交通計画の策定検討において、計画情報の一部および計画の検討・合意プロセスの補完手段として、関係者の意向に関する調査を統一的に行う。

表 1 関係者意向調査で把握しようとする計画情報

計画のねらい		①事業者	②市町村
移動制約のある県民の生活の質確保		<ul style="list-style-type: none"> ● サービス水準の動向 ● 事業を取り巻く環境 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村越境サービスの確保の必要性検討のための需要特性 ● 市町村住民に保障すべき活動機会の内容に対する検討状況 ● 複数市町村をまたぐ地域公共交通サービスの課題と望ましい検討体制 ● コミュニティ交通の活用に向けた検討状況 ● 民間施設による送迎施設の把握状況
その他	都市交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 国中の市街地におけるサービス水準の動向 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市交通問題に対する市町村としての課題・重要性認識
	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光路線のサービス水準の動向 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通を活用した観光振興に対する、市町村としての考え方
	リニア駅からの広域交通確保	—	<ul style="list-style-type: none"> ● リニア駅からの広域交通の確保について、市町村としてどのように期待しているか
	公共交通の活性化	—	—

1. 事業者意向調査

1-1. 鉄道事業者

(1)把握しようとする計画情報

- サービス水準の動向
- 大規模市街地部のサービス水準の動向
- 観光路線のサービス水準の動向

(2)調査方法

各事業者への訪問インタビューまたは調査票調査。

(3)調査項目

- サービス水準の動向
 - 県内各路線のサービス水準について、今後の増減の意向
 - 新型コロナウイルス感染症流行もある中、直近の利用動向と今後の見込み
 - 特に閑散路線のサービス水準について、今後の増減の意向（小海線を抱えるJR東日本のみ）
 - その他、今後の輸送サービス提供上の課題・懸念事項やその背景（例：利用減、設備の維持管理、人員確保、他）
 - 上記を解決するための取組
 - 輸送実績と収支に関するデータ提供依頼
- 国中の市街地におけるサービス水準の動向
 - 甲府市周辺の市街地区間のサービス水準について、今後の増減の意向（JR東日本・JR東海のみ）
- 観光路線のサービス水準の動向
 - 観光客も利用する特急列車のサービス水準について、今後の増減の動向。特に、鉄道を利用する観光客の増減や高速道路の開通をふまえて。
- その他
 - 他交通機関との連携の取り組み

1-2. 乗合バス事業者

(1)把握しようとする計画情報

- サービス水準の動向

(2)調査方法

各事業者への訪問インタビューまたは調査票調査。

(3)調査項目

- サービス水準の動向
 - 県内各路線のサービス水準について、今後の増減の意向
 - 路線維持が難しくなる路線の情報
 - 新型コロナウイルス感染症流行もある中、直近の利用動向と今後の見込み
 - その他、今後の輸送サービス提供上の課題・懸念事項やその背景（例：利用減、運転手不足、燃料費高騰、他）
 - 上記を解決するための取組
 - 輸送実績と収支に関するデータ提供依頼
- その他
 - 他交通機関との連携の取り組み
 - サブスクリプション型運賃への関心

1-3. タクシー事業者

(1)把握しようとする計画情報

- サービス水準の動向

(2)調査方法

タクシー協会経由での調査票調査。

(3)調査項目

- サービス水準の動向
 - タクシーの供給力について、今後の増減の意向（事業存続が難しい場合も含めて）
 - 新型コロナウイルス感染症流行もある中、直近の利用動向
 - その他、今後の輸送サービス提供上の課題・懸念事項やその背景（例：利用減、運転手不足、燃料費高騰、他）
 - 上記を解決するための取組
- その他
 - 他交通機関との連携の取り組み
 - サブスクリプション型運賃への関心

2. 市町村意向調査

(1)把握しようとする計画情報

- 市町村越境サービスの確保の必要性検討のための需要特性
- 市町村住民に保障すべき活動機会の内容に対する検討状況
- 複数市町村をまたぐ地域公共交通サービスの課題と望ましい検討体制
- コミュニティ交通の活用に向けた検討状況
- 民間施設による送迎施設の把握状況
- 都市交通問題に対する市町村としての課題・重要性認識
- 公共交通を活用した観光振興に対する、市町村としての考え方
- リニア駅からの広域交通の確保について、市町村としてどのように期待しているか

(2)調査方法

全市町村に対する調査票調査を実施し、広域幹線路線が通過する市町村などを中心に、必要に応じヒアリングを行う。

(3)調査項目

- 市町村越境サービスの確保の必要性検討のための需要特性
 - 市町村住民の、市町村外の主な通学、買物、通院先とその交通手段
- 市町村住民に保障すべき活動機会の内容に対する検討状況
 - 上位計画における、生活交通の確保・住民に保障すべき活動機会に関する目標の記載状況
- 複数市町村をまたぐ地域公共交通サービスの課題と望ましい検討体制
 - 複数市町村をまたぐ広域バス路線に対する課題
 - 課題解決に向けた望ましい検討体制
- コミュニティ交通の活用に向けた検討状況
 - コミュニティ交通への転換の検討状況
 - コミュニティ交通への転換の際に想定している課題
- 民間施設による送迎施設の把握状況
 - 企業、病院、商業施設等による送迎サービスの現状把握状況
- 都市交通問題に対する市町村としての課題・重要性認識
 - 渋滞緩和、マイカー利用の削減、コンパクトシティ等に対する市町村としての課題認識、重視度合い
- 公共交通を活用した観光振興に対する、市町村としての考え方
 - 観光振興において、公共交通を利用しやすくすることで誘客することや、観

光交通渋滞の緩和のために公共交通への転換をめざすことを考えているかどうか

- リニア駅からの広域交通の確保について、市町村としてどのように期待しているか
 - リニア駅と自市町村がどのように結ばれることが望ましいと考えているか
 - その交通手段が市場を通しては供給されない場合、市町村として資金を負担してでも確保したいと思うか